



同志社女子大学

「つくる、  
そして考える。」

## 小田原のどか 講演会

2014年10月13日《月・祝》16:45~18:15

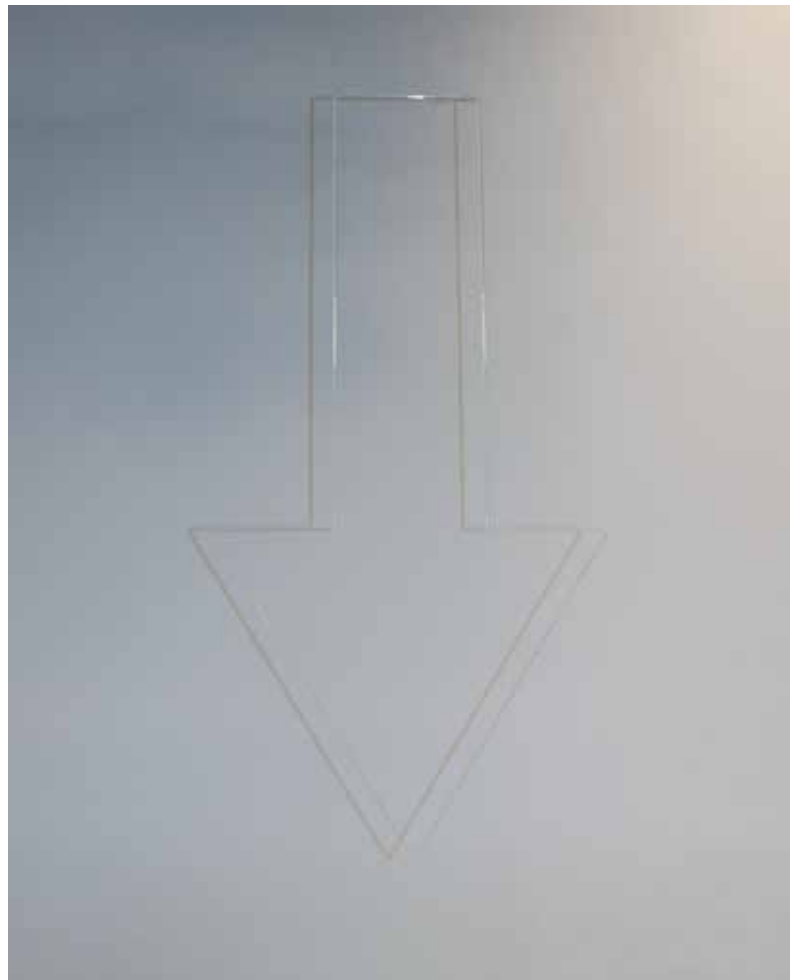
同志社女子大学 京田辺キャンパス C000

対象=学生および一般  
《参加無料》

主催=同志社女子大学 情報メディア学科  
お問い合わせ先=同志社女子大学 情報メディア学科事務室  
Tel.0774-65-8635



撮影：寺町英明



小田原のどか「↓」 撮影—金川晋吾

### 関連イベント：

『小田原のどか作品展《↓》』2014年9月24日(水)~11月11日(火)

開館時間=9:30-20:00(ただし10月29日のみ17:00まで) 入館=閉館の15分前まで 休館日=土日 観覧料=無料

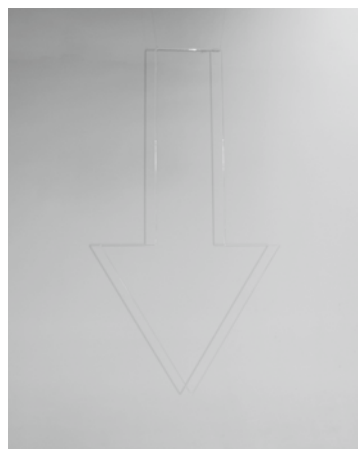
場所：同志社女子大学 mscギャラリー(京田辺キャンパス知徳館6号棟1階C163)

小田原のどか 講演会

「つくる、そして考える。」



小田原のどか「↓」撮影—遠藤祐輔



小田原のどか「↓」撮影—金川晋吾



小田原のどか「↓」撮影—高嶋清俊 写真提供—阪神総合レジャー株式会社

制作協力：根本千絵様、井手桃太郎様、株式会社ユン美工、有限会社ワーカーズ

助成：日本記号学会（「長崎・原爆投下地点に設置された矢羽型記念標柱についての調査」に対して）

< 講師プロフィール > 1985年宮城県仙台市に生まれる。現在、東京都在住。2003年から「彫刻」について考えを巡らせることを通して作品制作を行う。2010年より「彫刻」を「絵画ではないもの」として定義することを試み、画家・中西夏之氏の絵画思想を「絵画のための場所論」であると捉えて、論文の形式を用いて中西氏の絵画思想を体系化することで「絵・彫刻の外部」について迫る。主な論文に「中西夏之の絵画場の研究：土方巽との協働からの影響を中心に」『芸術学研究』17号(2012)、「中西夏之の絵画制作方法：1981年放映《美の世界》を手がかりに」『芸術学研究』18号(2013)。2013年、美学会全国大会若手研究者フォーラムにて研究発表を行う。2010年、展覧会プロジェクト『あなたはいま、まさに、ここにいる』(<http://ima-koko.info/>)を企画。2012年に京都芸術センターの2つのギャラリーを会場とし、大久保具視・鈴木知佳の2人の美術家の個展を企画開催。2011年にセルフパブリッシングレーベル・トポフィル (<http://topofil.info/>) を立ち上げる。今秋、同レーベルから3冊目の書籍の刊行を予定している。

同志社女子大学までのアクセス

- ・ JR学研都市線（同志社前）下車→正門まで徒歩3分
- ・ 近鉄京都線（興戸）下車→正門まで徒歩10分

